

2008年3月期 決算説明会  
新たな成長段階に向けて

1. 決算をふまえた対応
2. サービスプロバイダー推進のための取り組み
3. 今後の事業展開
4. 新たなサービスの創造を目指して

2008年5月9日

株式会社 CSKホールディングス

## ■ 今後の取り組み方針

### 【コスモ証券】 リテール業務にフォーカス

#### 従来のスタンス

- カタリストとしての役割を期待し、CSKグループは経営に関与しない

#### 今後の方針

- リテール部門の強化をはかるため経営資源を最大に活用
- リテール部門へ人材を重点配分した組織体制へ変更
- CSKグループとして連携を強化(人的側面・経営資源)

### 【金融サービス事業】 環境に応じた投資残高

#### 市況およびCSKグループの状況

- 不動産証券流動化ビジネスに対する金融機関の融資取組み姿勢の影響が顕在化
- 優良大型案件に対する市場のニーズは強く、スリップした案件への引合いは継続中

#### 今後の方針

- 投資: 優良大型案件を中心に、さらに慎重にデューデリジェンスを実施
- 回収: 市場環境に応じて順次回収を実施

## ■ 今後の取り組み方針

### 【新証券システム (ESTREX)】 商品提供開始

#### 市場環境

- 株券電子化等の制度変更や東証次期取引システム対応による導入姿勢の慎重化
- 顧客獲得・導入計画が遅延する可能性が高く回収計画を見直し

#### 営業状況

- 地銀系証券会社が5月に事業開始し、中堅証券会社が上期中に導入予定
- 導入実績をトリガーとして、地銀系・中堅証券会社へ営業を展開

### Level 1

2008.05～ 提供開始

#### phase 1

##### 【概要】

新設証券会社の業務範囲

##### 【開発戦略】

標準化基本形完成

##### 【マーケティング対象】

地銀証券子会社

～2009.10 完成目標

#### phase 2

##### 【概要】

制度変更を含む機能追加  
差別化を図るオプションサービス

##### 【開発戦略】

MarketViewerとの統合システム展開  
標準化範囲拡大 + オプションサービス

##### 【マーケティング対象】

地銀向け営業本格展開  
中堅証券会社への展開

### Level 2

2011.01～ 並行稼働

##### 【概要】

準大手証券会社の業務範囲  
オプションサービス拡充

##### 【開発戦略】

標準化 + オプションサービス

##### 【マーケティング対象】

準大手証券会社等

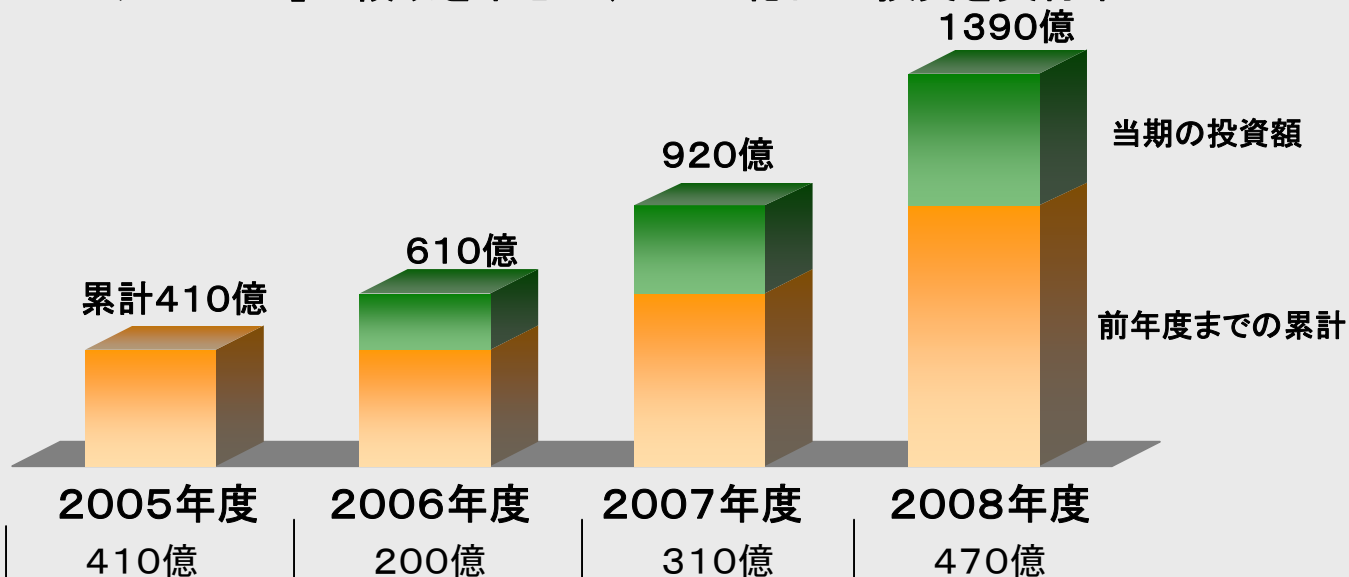


## 2. サービスプロバイダー推進のための取り組み



### ■ 1300億円の投資

「金融」「ヘルスケア」「コミュニケーション」の領域を中心に、1300億円の投資を実行中



【単年度の投資額】		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
【投資内容】	【金融】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ESTREX</li> <li>・大証への投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業投資</li> <li>・CSK-RB証券設立</li> </ul>		
	【ヘルスケア】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R&amp;D</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業投資</li> </ul>		
	【コミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレッシュメント設立</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・BPOセンター投資</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSK-IS設立</li> <li>・CSK多摩センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データセンター投資</li> <li>・グループ情報基盤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データセンター投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業投資(情報サービス)</li> <li>・バイアウトファンド</li> </ul>

## 2. サービスプロバイダー推進のための取り組み

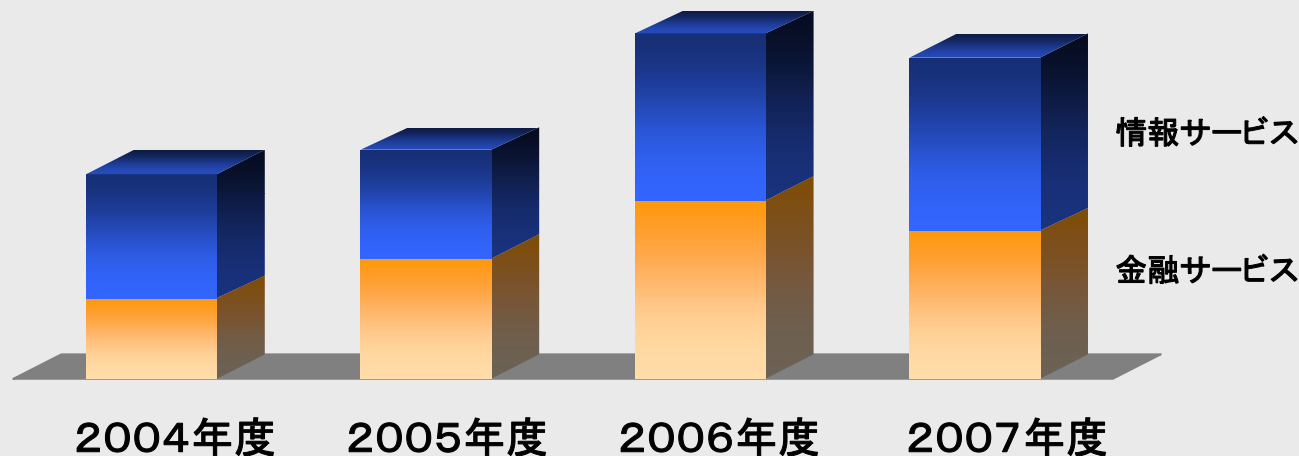


### ■ 収益基盤の確立

安定的な収益基盤として、「情報サービス事業」「金融サービス事業」の2本の柱を確立

- 情報サービス事業は、サービスの質的転換を着実に実行したことで、収益が大幅に改善
- 金融サービス事業は、不動産証券化ビジネスを中心に、安定的な収益を創出

### セグメント別営業利益の推移



【情報サービス事業】

110億円

96億円

147億円

154億円

【金融サービス事業】

62億円

106億円

158億円

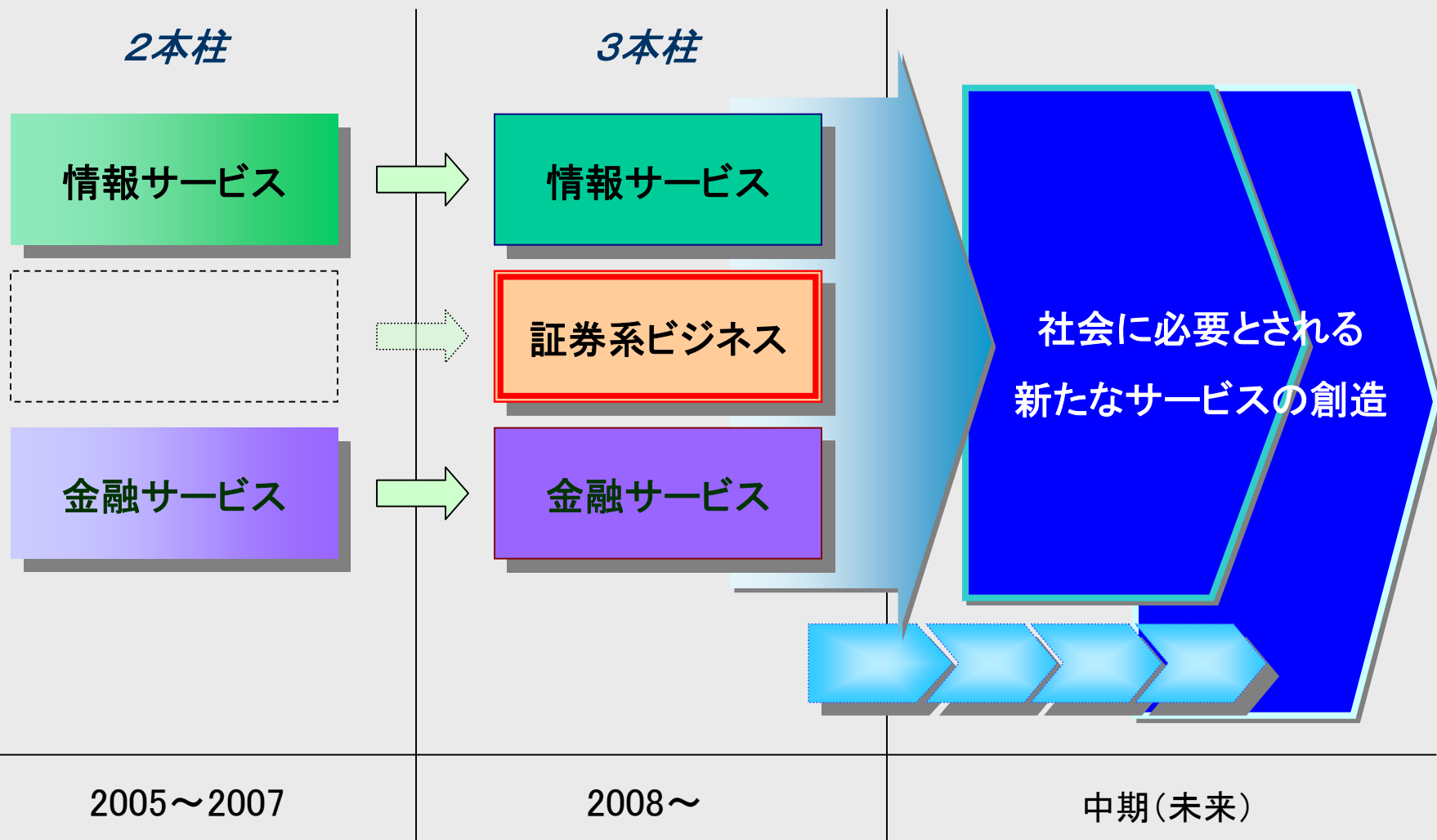
130億円

### 3. 今後の事業展開



#### ■ 3本の事業の柱へ

■ これまでの2本柱に加え、証券系ビジネスを本格的な事業の柱に



### 3. 今後の事業展開



#### ■ 情報サービス事業におけるサービスプロバイダーへの取り組み

グループ再編により確立された経営基盤を背景に、事業領域を飛躍拡大するステージへ

#### ■ ITの特色を活用し、お客様のビジネスにおける特徴を生み出す

IT競争力の強化 — 既存の取り組みをさらに進化

- ・ニアショア & オフショアリモート開発／保守体制の強化
- ・フレームワークファクトリの活用推進
- ・センター型サービス提供の推進

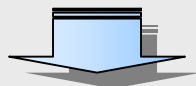
アセット(プラットフォーム)構築&再利用 — 投資を継続しグループ内の棚卸しと共有化を推進

- ・保険業務サービス(金融・業務)
- ・文教向け業務支援サービス(文教・業務)
- ・次世代EDI(業界標準)への取り組み(流通・基幹) 等

共同事業型サービスの展開 — 社外とのコラボレーションを通じた事業領域の拡大

- ・CSKプレッシュェンド(株式会社ゼイヴェルとの合併会社)の順調な拡大

専門性の強化 — テーマ別・機能別のグループ再編により、役割を明確化・専門分野を深耕



アセット(プラットフォーム)の構築・再利用や総合的なサービス展開によりビジネスモデルの転換を加速

特定業界・業務向けサービスへの特化による、業界・業務標準となる新しいビジネスの創造

⇒ これらを複合したサービスを志向

### 3. 今後の事業展開



#### ■ 証券系ビジネスへの本格的取組み ～収益の柱の一つに～

##### 【コスモ証券】

- リテール業務にフォーカス

##### 【CSK証券サービス・CSK-RB証券】

- 5/12ESTREXのファーストユーザ稼動予定
- 証券子会社の設立、システム導入、開業、その後の運用までフルラインサポート

##### 【プラザアセットマネジメント・プラザキャピタルマネジメント・CSKベンチャーキャピタル】

- 安定資産残高の拡大を図り、安定収益基盤を拡大

##### 【CSKプリンシパルズ】

- バイアウトファンド(事業承継案件を投資対象)を組成し展開予定



## 4. 新たなサービスの創造を目指して



### ■ CSK-ISによる新たなサービスへの取り組み

#### CSKアグリコールとの農業への取り組み

- 企業自らが自給を目指す新たな農業事業の形  
⇒ “**企産企消**” 農業事業モデル

#### 産学共同研究

- 中村祐輔理事(東京大学医科学研究所教授)とのオーダーメイド医療実現のための共同研究
- 川島隆太理事(東北大学加齢医学研究所教授)との「脳とIT」「食とIT」に関する共同研究

#### ユビキタス特区でのマルチメディア放送実験

- マルチメディア放送実験免許を獲得
- 放送波をつかった「コンテンツ・ダウンロード」実験等を実施

< 免責事項 Disclaimer >

本資料は、業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、CSKホールディングス及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

This material is intended to provide information about the business performance and strategy of the CSK Group. It is not intended and should not be construed as an inducement to purchase or sell stock in CSK HOLDINGS or CSK Group companies. Statements in this presentation and at the explanatory meeting that are not historical fact are forward-looking statements, based on the current beliefs, estimates and expectations of management. As these beliefs, estimates and expectations are subject to a number of risks, uncertainties, and assumptions, actual results may be materially different. CSK HOLDINGS undertakes no obligation to update any forward-looking statements, and shall in no event be liable for any damages arising out of the use or interpretation of this material. Please refrain from copying, disseminating or distributing this material without the prior consent of CSK HOLDINGS.